

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

1 事業概要		提出日		R7.6.23	
(1)事業名		担当		政策推進課	
まちのキャンパス_HIGASHI_OGAWA推進事業費		グループ名		政策推進グループ	
(4)第5次総合振興計画での位置づけ		記入者名			
(1)基本目標		(2)事業種別		(3)事業性格	
安全で住みよいまち〈都市基盤の充実〉		(新規・継続)		継続 (政策・一般)	
(2)大項目		(5)予算・財源等の別		政策事業	
市街地・集落		(1)会計区分		一般会計	
(3)中項目		(2)財源区分		国補助	
コンパクトシティづくり		(3)予算科目		款 2 項 1 目 5	
(4)施策		(4)予算事業名		まちのキャンパス_HIGASHI_OGAWA推進事業費	
(5)施策コード		掲載ページ		53 ページ	
(6)実施根拠		(7)総合戦略			
(1)事務分類(自治・法定受託)		(1)総合戦略		まちのキャンパス_HIGASHI_OGAWA推進事業費	
自治事務		(該当事業名)			
(2)根拠法令・条例等		終了		R20 年 3 月まで	
(3)事業期間		開始		R5 年 4 月から	
2 事業の目的・内容等					
(1)目的(何のために行うか)		(2)内容(どのような取り組みか)			
人口減少・高齢化が進む東小川住宅団地内の学校跡地の活用による、多世代共生持続可能なまちづくりを目的とする。		旧上野台中学校校舎等及び旧東小川小学校を主に町外の事業者のサテライトオフィス等に活用する。旧上野台中学校校舎をコワーキングやレンタルキッチンに活用する。旧上野台中学校グラウンド跡地に道路等インフラを整備し、高齢者介護事業所、賃貸住宅等を誘致する。			
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)		(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
本町に関心を寄せる企業、起業希望者、Iターン・Uターン希望者など		学校跡地の活用により、多世代が安心して住み続けられるための生活基盤を整備するとともに、当町への新しい人の流れを生み出すことで、持続可能な住宅団地を目指す。			
対象数		-		単位	
(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)					
本町の人口減少及び高齢化は着実に進行し、特に東小川住宅団地については急激な人口減少、高齢化の進行に伴い、地域コミュニティが衰退し、空き家の発生も問題となっている。住宅団地の大きな資源である優れたインフラ環境を保全するとともに、空き家・空き店舗や学校跡地などの遊休化した公共施設などを活用することで、安心して住み続けることができる生活基盤を構築することが必要である。					
(6)SDGsへの貢献					
11 住み続けられるまちづくりを					
3 事業のコスト(実績・決算・予算)		(単位:千円)			
(1)事業(内容)名称		まちのキャンパス_HIGASHI_OGAWA推進事業費			
項目		決算・予算年度		R3年度決算 R4年度決算 R5年度決算 実施年度(R6年度)決算 今年度(R7年度)当初予算	
(2)事業費内訳		旧上野台中学校サテライトオフィス等運営委託(定額分)		0 0 3,505 3,682 3,683	
		旧上野台中学校サテライトオフィス等運営委託(変動分)		0 0 1,235 2,038 2,100	
		需用費		0 0 3,572 4,173 3,900	
		役務費		0 0 577 500 533	
		備品購入費		0 0 548 921 275	
		その他		0 0 178,715 13,239 9,100	
		直接事業費合計		0 0 188,152 24,553 19,591	
(3)財源内訳		国庫支出金		0 0 47,300 4,600 1,000	
		県支出金		0 0 20,741 0 0	
		地方債		0 0 85,500 6,300 6,100	
		その他特定財源		0 0 7,117 9,007 8,042	
		一般財源		0 0 27,494 4,646 4,449	
		合計		0 0 188,152 24,553 19,591	
(4)補助金名		都市構造再編集支援事業補助金・ふるさと創造資金埼玉版スーパーシティプロジェクト推進補助金		都市構造再編集支援事業補助金 都市構造再編集支援事業補助金	
(5)人件費		投入職員数		1 1 1	
		年間人件費		0 0 7,521 7,772 8,032	
(6)総事業費		サービス量(人)		0 0 195,673 32,325 27,623	
		サービス単価		#DIV/0! #DIV/0! 71.8 9.0 5.5	
(単位)		千円/旧上野台中学校サテライトオフィス等利用者数			

4 指標の検証				まちのキャンパス_HIGASHI OGAWA推進事業費		
指標名			単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)						
指標名	イベント実施件数	目標値	件	48	48	48
		実績値	件	48	64	
		達成率	%	100.0	133.3	
	SNS等情報発信件数	目標値	件	100	100	100
		実績値	件	122	96	
		達成率	%	122.0	96.0	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	サテライトオフィス入居企業数	目標値	社	2	8	11
		実績値	社	8	11	
		達成率	%	400.0	137.5	
	旧上野台中学校サテライトオフィス等利用者数	目標値	人	3,000	4,000	5,000
		実績値	人	2,727	3,582	
		達成率	%	90.9	89.6	
(3)その他指標に現れない成果						
用途廃止した町所有施設について、教室の賃借などにより維持管理費の削減を図りながら利活用し、住宅団地再生を目指す事業。そのため、旧上野台中学校と旧東小川小学校の建物賃借料等もその他特定財源に含めている。						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他(令和7年度まではインフラ整備のためイニシャルコストがかかる。)	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他()	
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
<p>全室入居の場合、ランニングコストで考えると年間収支は△200万円程度(不足分を一般財源で補填)となる想定。事業を行わなくても取壊しせずに最低限の維持管理をする場合、法定点検や光熱水費等で年間1校あたり100万円以上はかかることが想定されるため、それを踏まえると収支はプラスと捉えることもできるが、廃校活用事業のため収支がマイナスにならないことが望ましい。</p> <p>令和7年4月1日時点では全室入居となっており、今後も空きが出ないように入居促進に取り組む必要がある。また、セカンドオフィスとしての利用で、大半の事業者が当町での積極的な事業や活動には至っていないため、当町への関わりを持っていたけよう、町内の事業者等との交流機会をつくる必要がある。</p>						
6 事業の方向性の判断				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	評価	評価についての説明				
(1)一次評価 (担当課長)						
(2)二次評価 (政策推進課長)						
(3)最終評価 (町長)	2 現状維持	本事業をとおして、東小川住宅団地の活性化を引き続き進める。				